

令和2年度 学校評価

武蔵越生高等学校

(令和3年6月19日)

目指す学校像	グローバル化した国際社会のなかで良き形成者・リーダーとして心豊かで実践力のある人間を育成する学校。	学校関係者評価は、PTA 役員、後援会役員、同窓会役員、学園評議員からなる学校関係者評価委員会による。
本年度の重点目標	<p>1 学力の向上と進路の保障 学ぶことの大切さ、理解することの喜びを体得させ、生徒の実態にあった指導を研究し、魅力的で実力のつく授業の展開を図る。</p> <p>2 礼儀正しい態度の養成 社会の中の一員としての自覚を持たせ、自分を律していくことで自他の心を大事にする必要性をわからせる。</p> <p>3 クラブ活動の育成強化 生徒の特技や情操を高め、心身の健全な成長を図ると共に、愛校心を育てるためクラブ活動を重視し育成強化していく。</p> <p>4 地域との連携強化 地域の文化の砦としての信頼を得ると共に、積極的に交流を深め、地域の活性化の一躍を担う。</p>	

年度当初					最終評価に向けて				
番号	評価項目	現状	具体的な方策	評価指標	具体的指標	学校関係者中間評価	達成状況	令和3年度への課題と改善策	学校関係者最終評価
1	●学力を上げる。 ●学習環境の整備	●クラス内生徒の学力幅が広い。全コースで学力偏差値はすこしずつ上がっている。学力が低く学習意欲に欠ける生徒、学習に興味関心の高い生徒、それぞれの学力向上に対する施策に、まだ工夫の余地がある。 ●入学から進路実現まで、常に生徒や保護者から満足できる学校生活の確保を求められている。その中でも学習環境や生徒理解という観点の優先順位が高い。	●授業の充実⇒教科会の活性化 ●家庭学習⇒スタディサプリの活用 ●評定値の適正化⇒単票の統計調査 ●進学基礎講座による学力アップ、検定取得⇒検定合格率調査、分析 ●学年共通問題の徹底。 ●教科主任会、コース委員会の継続的活動。 ●生徒理解アンケートの有効活用。 ●教員研修の回数を増やし質の向上に努める。 ●Wi-Fi 環境を整備しオンライン学習支援システムを併用する。	●学習意欲を高め家庭での学習時間が増加したか。 ●各検定試験の合格率が上がったか。 ●実力テストの平均点が全国平均を上回り、進研、河合模試で平均偏差値が50、上位層で70以上を達成できたか。	●漢検合格率 ●英検合格率 ●実力試験平均点 進研・河合模試 SS50以上	C	●漢検 合格率 46% ●英検 合格率 40% S 特選抜 I 合格率 準2級以上 64% ●実力テスト1年生 95.7 (SS44.8) 2年生 75.6(SS45.8) 3年生 75.6(SS55.5) ●進研・河合模試 1年生進研 52.6 河合 48.7 2年生進研 48.3 河合 47.0 3年生進研 49.7 河合 48.5 上位層は英 71.6 国 70.8 数 76.9	●漢検 合格率 10%アップ。検定試験対策が実績につながる。1年次に合格できる取り組みにより50%合格を目指す。 ●合格率は20.6%アップ。英検ウィークの有効活用により合格率アップを目指す。 ●引き続き各教科で模試等の分析や研修を積み上げ全体の学力アップに努める。 ●継続してスタディサプリの有効活用に努める。	B
	●生徒個々の適性を見極め、将来有益な人材として活躍できるよう指導する。	●多様な入試制度で進路を目指す生徒がいる。大学の定員充足率の是正により、大学入試がより厳しくなっている。 ●大学・短大進学率が前年度より低下した。	●ガイダンスや相談会を生徒の希望や実態に合わせて準備する。 ●スタディサプリによる進路指導を探究学習と連動して実施する。 ●説明会で得た情報を全職員で共有し生徒の進路指導に役立てる。	●適切な進路情報を提供し、生徒保護者の満足度を上げたか。 ●現役大進学率 75%を達成できたか。	●大学・短大進学率75%	C	●大学・短大進学率 68%。 ●主な四年制大学進学 国公立 1 早慶上理 3GMARCH9 成成明国武 2 日東駒専 31 大東亜帝国 37 他 東京薬科、星薬科、日本女子、東京女子、関西外語、近畿など大学合格 285 名 ●大学入学共通テスト 238 名	●大学入学共通テスト受験者に対するガイダンス、目標値設定、対策講座等きめ細かな指導を実施する。 ●教務・進路・コース委が連携し成績データ分析の精度をより高め受験校指導に生かす。	B
2	●挨拶、礼儀、校内美化、授業規律の習慣化。 ●いじめ防止、撲滅に向けての活動。 ●SNS、携帯依存の問題への取り組み。	●「挨拶」「礼儀」「校内美化」「授業規律」の習慣化に向けて努力が必要である。 ●SNS利用のモラルの向上が必要である。 ●生徒指導上の諸問題に対し未然に防止できる指導が必要である。	●乗車指導、頭髮服装検査、身だしなみセミナー、授業規律チェック週間の実施。 ●生徒アンケート・ネットパトロールを有効活用し実態把握、早期発見に努める。 ●カウンセリングによる相談生徒の把握と分析。	●日常の学校生活での目標設定を明確にして取り組むことができていたか。(身嗜み、挨拶、授業規律等) ●問題行動等を未然に防ぐことができたか。 ●生徒指導案件を減らすことができたか。	●身嗜み検査再検査数 ●携帯電話保管件数 ●生徒指導件数 ●非卒業率	B	●身嗜み再検査数 7月1年 78名 2年 51名 3年 43名 3月1年 37名 2年 43名 3年 25名 ●携帯電話指導件数 34台(昨年度 91台) ●生徒指導件数 12件(昨年度 18件) 携帯電話指導件数、指導件数とも大幅に減少している。 ●非卒業率と実数 6%(21名)	●学年や担任との連携をより進めることで生活指導件数を未然に防ぐ指導に取り組む。 ●学年、担任、教育相談部との連携で転学・退学する生徒が減少するように努めたい。	B
3	●生徒の心身を鍛え、特技・特性を伸ばし、集団の一員として行動できるようにさせる。	●学校行事に積極的に参加し、取り組むことができています。 ●部室の清掃、施錠等自治活動の推進を進め更なる向上が求められる。	●運動部集会、部活動顧問会の実施。 ●部活動、学校行事と子供たちの活躍の場を作る。 ●クラブ日誌の有効活用。	●部活動の成績と部活動加入率が上がったか。 ●学校行事の実施状況。	●部活動加入率 ●部活動実績	A	●部活動加入率 81.8% ●部活動実績 サッカー一部県大会2位チアリーダー部全国大会3位 和太鼓部全国ネット出演、柔道部、陸上部関東大会出場。家庭科部菅首相献上品作成。	●部活動加入率の更なるupと2年生以降の継続率にもこだわりながら生徒の学校生活がより意義あるものになるようにしたい。	A
4	●開かれた学校を目指し、地域・保護者と連携する。 ●学校からの情報発信を積極的に行う。	●PTA、後援会、同窓会の連携により、学校行事及び教育活動の運営に更なる成果を求めたい。	●PTA・後援会・同窓会の活動を通じて魅力ある学校作りを推進。 ●学校 HP での積極的発信。	●中学校・塾との関係 ●PTA・後援会・同窓会 学校評価委員会での意見交換。 ●学校 HP のアクセス件数。	●中学・塾交流 ●P・後・同連携 ●HP アクセス数	B	●中学・塾関係 塾説明会 143名 OC968名 学校説明会 1270組 ●HP アクセス数月平均 10,000件 ●入学者数 348名	●感染症対策を講じながらの学校説明会の実施。オンラインを活用した学校紹介の充実。 ●PTA 活動の更なる活発化。	B

達成度 A:ほぼ達成(80%) B:概ね達成(60%程度) C:変化の兆し(40%前後) D:まだ不十分(40%未満)